平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名　八千代工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7298　URL　http://www.yachiyo-ind.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 加藤　正彰
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部副本部長 経理部長　(氏名) 北村　哲也　TEL 04-2955-1211
四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	187,623	△20.4	1,506	△72.0	1,397	△72.0	△1,240	―
23年3月期第3四半期	235,604	20.8	5,374	―	4,983	―	2,797	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△2,652百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　1,445百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△51.66	―
23年3月期第3四半期	116.48	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	121,334	33,797	23.6
23年3月期	113,605	36,733	28.6

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　28,670百万円　23年3月期　32,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
24年3月期	―	10.00	―		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△11.3	2,400	△60.5	2,400	△57.6	△1,300	―	△54.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	24,042,700 株	23年3月期	24,042,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	29,084 株	23年3月期	29,013 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	24,013,653 株	23年3月期3Q	24,013,725 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1.上記業績予想は、平成23年10月27日発表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2.業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。
なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．連結財務諸表等 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
第３四半期連結会計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（４）セグメント情報等 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の経済状況は、国内の景気は、東日本大震災の影響や円高の長期化などにより依然として厳しい状況にあるなかで、設備投資は下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられ、個人消費はおおむね横ばいとなるなど、緩やかに持ち直しております。一方、海外においては、米国の景気は、失業率が高止まりしているものの、緩やかに回復しております。アジア諸国の景気は、中国では拡大し、インドでは拡大のテンポが鈍化しております。その他のアジア諸国においても総じて景気は回復しているものの、タイでは洪水の影響により弱い動きとなっております。欧州主要国の景気は足踏み状態にあり、一部に弱い動きもみられております。また、欧州地域の一部の国々における財政の先行き不安の高まりが、金融資本市場に影響を及ぼしていること等により、世界景気の下振れが懸念されております。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のＳ（営業）Ｅ（生産）Ｄ（製品開発）Ｂ（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成の強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるために、新たな機構や新材料などを活用した製品開発を強化するなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進いたしました。また、東日本大震災やタイで発生した洪水の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産への対応を図ってまいりました。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災やタイで発生した洪水の影響による国内外主要顧客の生産の休止や減産に伴う大幅な受注の減少などにより、1,876億２千３百万円と前年同期に比べ479億８千万円、20.4%の減収となりました。なお、主な海外連結子会社の第３四半期末は９月末日のため、当第３四半期連結累計期間における海外連結子会社に与えるタイで発生した洪水の影響は軽微であります。利益につきましては、アジアなどでの二輪部品の増収に伴う利益の増加や、原価改善効果及び減価償却費の減少などはあったものの、自動車部品及び自動車組立における大幅な減収に伴う利益の減少や研究開発費の増加などにより、経常利益は、13億９千７百万円と前年同期に比べ35億８千６百万円、72.0%の減益となりました。四半期純損失は、震災による操業停止期間中の固定費など４億１千万円を災害による損失として特別損失に計上したことなどにより、12億４千万円と前年同期の四半期純利益27億９千７百万円に比べ40億３千７百万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品及び自動車組立における大幅な受注の減少などにより、売上高は、1,193億７百万円と前年同期に比べ443億３千５百万円、27.1%の減収となり、経常損失は、11億２千６百万円と前年同期に比べ10億９百万円の減益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、エー　ワイ　マニュファクチュアリング　リミテッド（米国）及びユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）における受注の減少や為替換算上の減少などにより、売上高は、224億４百万円と前年同期に比べ57億２千９百万円、20.4%の減収となり、経常損失は、12億７千７百万円と前年同期に比べ17億２千８百万円の減益となりました。

（中国）

中国においては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）及び八千代工業（武漢）有限公司（中国）における受注の減少や為替換算上の減少などにより、売上高は、119億３千１百万円と前年同期に比べ28億２千５百万円、19.1%の減収となり、経常利益は、14億３千３百万円と前年同期に比べ６億６千４百万円、31.7%の減益となりました。

（アジア）

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム　ゴウシ　マニュファクチュアリング　カンパニー　リミテッド（タイ）、ゴウシ　タンロン　オートパーツ　カンパニー　リミテッド（ベトナム）及びゴウシ　インディア　オートパーツ　プライベート　リミテッド（インド）における受注の増加などにより、為替換算上の減少などはあったものの、売上高は、339億８千万円と前年同期に比べ49億９百万円、16.9%の増収となり、経常利益は、27億９千１百万円と前年同期に比べ１億４千９百万円、5.7%の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、1,213億３千４百万円と前年度に比べ77億２千８百万円の増加となりました。

増加した要因は、現金及び預金や為替換算レート差による円換算額の減少などがあったものの、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、875億３千６百万円と前年度に比べ106億６千４百万円の増加となりました。

増加した要因は、賞与引当金や為替換算レート差による円換算額の減少などがあったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、337億９千７百万円と前年度に比べ29億３千６百万円の減少となりました。

減少した要因は、少数株主持分の増加などがあったものの、為替換算調整勘定や利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、売上高は、国内及びベトナムでの二輪部品の受注の増加などはあるものの、タイで発生した洪水の影響による国内外主要顧客の生産休止や減産による受注の減少などにより、平成23年10月27日に発表した予想から変更しておりません。利益につきましては、国内及びベトナムでの二輪部品の増収に伴う利益の増加などはあるものの、タイで発生した洪水の影響による自動車部品の減収に伴う利益の減少などにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなったため、次のとおり修正しております。

なお、平成24年１月13日に発表した特別早期退職支援制度の実施に伴う影響につきましては、現時点では応募者数等が未確定であり、業績等への影響につきましては、予想することが困難であるため、業績予想には反映しておりません。今後、業績の予想が可能となり、修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

＜連結業績の見通し＞

売上高	２，７００億円	（前年度比　１１．３％減）
営業利益	２４億円	（前年度比　６０．５％減）
経常利益	２４億円	（前年度比　５７．６％減）
当期純利益	△１３億円	（前年度比　―　）

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社である㈱ゴウシテックは平成23年10月に解散し、現在、清算手続き中であります。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．連結財務諸表等

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,722	7,351
受取手形及び売掛金	24,943	36,080
商品及び製品	1,173	1,157
仕掛品	1,820	2,085
原材料及び貯蔵品	4,354	5,109
その他	2,012	2,953
流動資産合計	45,027	54,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,170	41,764
機械装置及び運搬具	83,233	82,875
工具、器具及び備品	38,991	40,457
土地	18,220	18,152
建設仮勘定	4,589	3,941
減価償却累計額	△122,379	△123,717
有形固定資産合計	64,824	63,474
無形固定資産		
のれん	860	645
その他	388	265
無形固定資産合計	1,249	910
投資その他の資産	2,504	2,209
固定資産合計	68,578	66,594
資産合計	113,605	121,334

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,544	30,691
短期借入金	15,506	17,102
1年内返済予定の長期借入金	6,106	7,676
賞与引当金	2,490	1,267
その他	8,955	9,240
流動負債合計	55,603	65,977
固定負債		
長期借入金	15,127	14,942
退職給付引当金	4,933	5,465
その他	1,206	1,150
固定負債合計	21,268	21,558
負債合計	76,872	87,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	32,133	30,412
自己株式	△24	△24
株主資本合計	39,298	37,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	34
為替換算調整勘定	△6,952	△8,941
その他の包括利益累計額合計	△6,858	△8,906
少数株主持分	4,293	5,126
純資産合計	36,733	33,797
負債純資産合計	113,605	121,334

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	235,604	187,623
売上原価	221,482	176,193
売上総利益	14,121	11,429
販売費及び一般管理費	8,747	9,923
営業利益	5,374	1,506
営業外収益		
受取利息	83	152
固定資産賃貸料	85	69
助成金収入	17	219
その他	66	185
営業外収益合計	253	627
営業外費用		
支払利息	343	318
為替差損	277	403
その他	22	14
営業外費用合計	643	735
経常利益	4,983	1,397
特別利益		
持分変動利益	－	21
固定資産売却益	282	105
その他	0	－
特別利益合計	283	127
特別損失		
固定資産売却損	18	8
固定資産除却損	140	93
特別退職金	86	204
災害による損失	－	410
その他	45	4
特別損失合計	291	721
税金等調整前四半期純利益	4,975	803
法人税等	1,443	1,144
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	3,532	△340
少数株主利益	734	899
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,797	△1,240

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	3,532	△340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△60
為替換算調整勘定	△2,023	△2,251
その他の包括利益合計	△2,086	△2,311
四半期包括利益	1,445	△2,652
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	851	△3,289
少数株主に係る四半期包括利益	594	636

（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	78,106	72,095
売上原価	73,047	67,502
売上総利益	5,059	4,593
販売費及び一般管理費	2,927	3,592
営業利益	2,131	1,001
営業外収益		
受取利息	39	51
固定資産賃貸料	30	21
その他	26	95
営業外収益合計	95	168
営業外費用		
支払利息	112	105
為替差損	13	193
その他	5	3
営業外費用合計	132	302
経常利益	2,095	867
特別利益		
固定資産売却益	1	5
特別利益合計	1	5
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	28	24
特別退職金	－	22
その他	1	－
特別損失合計	31	47
税金等調整前四半期純利益	2,065	824
法人税等	516	355
少数株主損益調整前四半期純利益	1,549	469
少数株主利益	252	369
四半期純利益	1,297	100

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,549	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	4
為替換算調整勘定	△895	△2,269
その他の包括利益合計	△886	△2,265
四半期包括利益	662	△1,795
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	457	△1,929
少数株主に係る四半期包括利益	205	133

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	163,642	28,133	14,757	29,070	―	235,604	―	235,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,423	384	11	97	―	6,916	(6,916)	―
計	170,066	28,518	14,768	29,168	―	242,521	(6,916)	235,604
セグメント利益（又はセグメント損失）	△116	450	2,098	2,642	△0	5,074	(90)	4,983

（注）１　セグメント利益の調整額△90百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	119,307	22,404	11,931	33,980	―	187,623	―	187,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,583	6	147	118	―	5,856	(5,856)	―
計	124,891	22,410	12,078	34,099	―	193,479	(5,856)	187,623
セグメント利益（又はセグメント損失）	△1,126	△1,277	1,433	2,791	10	1,832	(435)	1,397

（注）１　セグメント利益の調整額△435百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	54,526	8,520	5,246	9,814	―	78,106	―	78,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,072	142	6	30	―	2,251	(2,251)	―
計	56,599	8,662	5,252	9,844	―	80,358	(2,251)	78,106
セグメント利益	362	151	739	847	0	2,102	(6)	2,095

（注）１　セグメント利益の調整額△６百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第３四半期連結会計期間（自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	47,515	7,518	4,595	12,466	―	72,095	―	72,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,099	2	59	38	―	2,199	(2,199)	―
計	49,614	7,521	4,654	12,504	―	74,295	(2,199)	72,095
セグメント利益（又はセグメント損失）	△64	△384	495	1,083	3	1,133	(266)	867

（注）１　セグメント利益の調整額△266百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

（特別早期退職支援制度の実施）

当社は平成24年１月13日の臨時取締役会において、特別早期退職支援制度を実施することを決議いたしました。

１　特別早期退職支援制度の実施の理由

当社は昭和60年より本田技研工業株式会社（親会社）の軽自動車の受託生産を行っております。経済状況の変化によるホンダグループ全体の完成車生産戦略の見直しにより、平成22年７月に、新工場建設の計画中止を決定しました。これらの環境変化により、この度、来期から当社における軽自動車の生産台数が減少することに伴い、勤務形態が２交替制から平常勤務になり、在籍要員が必要数に対し多くなることとなりました。このような状況を踏まえ、新たな仕事創出、更には本田技研工業株式会社への出向で仕事量の確保を行っていきます。しかしながら、将来的には従業員の職種の転換、勤務地の異動等が考えられることより、選択肢のひとつとして特別早期退職支援制度を設け募集を行うことといたしました。

２　特別早期退職支援制度の募集の概要

①	対象者	全従業員
②	募集人数	設定しない
③	募集期間	平成24年２月13日から平成24年３月５日
④	退職日	平成24年４月30日
⑤	優遇措置	正規従業員には退職金に特別加算金を上乗せ支給（平成21年４月以降入社の者は除く） 再就職を希望する者へは就職支援会社を通じ、再就職支援を行う

３　業績への影響

現時点では、特別早期退職支援制度の応募者数等が未確定であり、合理的な算定が困難であります。

（重要な子会社の設立）

当社は平成24年１月13日の臨時取締役会において、メキシコにおける自動車部品の生産拠点としてグアナファト州に子会社を設立することを決議いたしました。

１　新会社の概要

①	商号	ヤチヨ　メキシコ　マニュファクチュアリング　エス　エー　デ　シー　ブイ
②	本店所在地	メキシコ合衆国　グアナファト州
③	設立年月日	平成24年２月（予定）
④	主な事業内容	自動車部品の製造及び販売
⑤	従業員数	約60名（平成26年予定）
⑥	主な事業所	本店のみ
⑦	資本金	2.4億メキシコペソ
⑧	株主構成	八千代工業株式会社　99.98％ ヤチヨ　オブ　アメリカ　インコーポレーテッド（当社100％子会社）　0.02％

２　新会社設立の理由

今後、自動車産業の急速な成長が見込まれるメキシコにおいて、当社は得意とする樹脂製燃料タンク及びサンルーフを現地で生産し、お客様への即納性を高め、ニーズに素早く対応できることが重要であると判断し、新会社を設立することといたしました。

（タイの洪水の影響について）

平成23年７月からの断続的な降雨によりタイで洪水被害が発生いたしました。当社グループへの影響は次のとおりであります。

１　当社連結子会社の状況について

12月決算会社である当社連結子会社のサイアム　ヤチヨ　カンパニー　リミテッド（タイ）及びサイアム　ゴウシ　マニュファクチュアリング　カンパニー　リミテッド（タイ）は、浸水被害及び人的被害はありませんでしたが、主要顧客が10月より操業停止中であり、それに追従する部分は操業を停止しております。

２　タイ以外での生産影響について

12月決算会社である米州の当社連結子会社についても11月における主要顧客の生産調整に対応し、一部でそれに追従した生産を行いました。

３　業績への影響

当連結会計年度の業績に与える影響につきましては、本日発表いたしました連結業績予想に反映しております。